

【刊夕】日二十月一

常磐每日新聞

原五錢郵錢十五月一 錢貳金部一 價定
 錢十五行一 詰字三十號五 料告廣
 治文崎川 人刷印人輯編余行發
 五三町橋長町平郡城石縣島福
 番〇三六話電 社聞新日每警常 所行發
 社會式株刷印日每警常 所刷印

我れを求めて

眞 繼 雲 山

私たちは、素と父母の縁によつて生れた、これを物質的に推論して測るならば私たちの生命の宿である物質上の出發點は赤白二諦といふに歸する。即ち赤と白と一滴の血潮の交會が私たちの物質的の出發點である、そこに本具本然の生命が宿された、これが只今の「我れ」である、これ以外に我れと名づくべき何物もない。

私たちの生命は、父母から貰ふたといふてゐるが、實は今以つて父母のものに外ならぬのである、父母の血潮に榮養素をそそぎ加へて五尺の肉身に盛り上げて來たのである、さうして自他といふ區別のない生命の宿りを假りに我れないと意識してゐるのである。我れとはもと／＼斯くの如きものたるを出でない。

父母の身は、そのまた父母のものたるに外ならぬ、その父母の身は又その父母のものたるに外ならぬ。五蘊假りに和合して人身をなすといふも、實は一貫した

一つの物質の延長に、大きな生命の一つを盛つたものに外ならない。地水火風の四大化が、或る條件に和合したときに同じ生命と名のつくものが宿つて、こゝに人間は出來上つてゐるのである。時間的物質的には久遠以來、空間的精神的には無限の大きな一つの物の小さな開閉運動が、われ／＼の生滅である。我れの由緒來歴を分析すれば當に斯くの如きものである。私たちは、先祖の物質の流れを假りに我れと名づけてゐる以外に別に我れと名づくべき何物もない、その先祖の物質の上に同じ名のつく生命と云ふものを据えて、久遠より永劫への旅路をつゞけてゐるのである、人生五十年はその旅路の一宿である、大きな歩みのうちの小さな一つの表現として、私たちは在るのである、生死とは不生不滅の本体上における小さな明滅に過ぎない

私たちの生命は、眞如の活現としてのみ、人智の思議することのできない存在

平町南町
看護婦急派
 の求めに應
 じます
平看護婦會
 電話三〇七番

ヨウ！モーターン！
 い、服を求めたね
 断然三一年型だよ
 いやコレカネ
 例の……「ソレ」

正札堂



六三四電通場車停目丁四町平

お正月の気分は
 先づ當店々頭から

福袋 一ケ 五十銭

中には何が入つて居るでせう……

目丁四平
ヤトモツマ
 番四一二話電

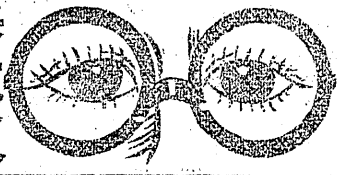
目下大流行の
ベビーカメラ
 一金六拾錢也
 附屬品付
 平町一丁目
森下商店

市原醫院
 平町田町(電話二一四番)

内科、小兒科 市原卯太郎
 外科一般、婦人科 市原陸郎
 外科、梅毒、淋毒 市原三三男

入院隨時

一冊の代金で
 御希望通りな
五冊の雑誌が
 自由に讀める
川崎文庫
 電話六三〇番
 (申込次第規則書進呈)



無料検眼
 各眼科院御用
 計鏡 時眼 本根

嚴冬——征伏の王者

▼ストロップは……
フクロクストロップを御選定下さい

一、最も安い石炭で最も良く燃えるストロップは
フクロクの右に出づるものはありません

二、石炭商の立場より各種のストロップを嚴密試験の結果
 始めて理想的**フクロクストロップ**を見え出しました

御希望の方へカタログを持参して御説明申上ます何卒御下命を……

平 停 車 場 前

福島縣總代理店
阿部石炭商店



二日間に六十件の水道故障

昨日來水道課は 全員擧げて出動

開設以來の記録破り

平地方は昨日から急激な寒さが襲来し平町上水道の導水管

破裂其他 大小さい栓の故障は昨日廿五件、本日卅餘件に達し、水道課は課長を始め全員擧げて此の故障修理に出動し事務室には留守居の給仕が唯一人ストープの番をして居る、斯くの如く兩日間に六十件近い故障の生じたのは全く平すい道部開設以來のレコード破りでこれはさい栓が寒さに

昨日が寒さの 最高記録

小名濱測候所の談に依れば昨日の温度は氷点下六度一分、本日は同五度一分で昨日が本年中に於ける寒さの最高記録であるが氣壓の配置から見ると明日邊りから幾分寒さがゆるむであらうと

氷結してみづが流出しない為め各家庭ではあせつて一時に熱湯を注ぎかける為め急激な温度の變化にさい栓が破壊する結果に基くものであつて成るべく氷結を解かすには最初はヌルマ湯を注ぎだんぐに解けるを待つ様にして戴き度いとすい道課員は語つて居た

木炭好況

其後も持續す

濱三郡木炭業者の生産検査帳數十二月中における成績は既報の如く十五萬俵を産してをり新春になつて一日平均五千俵約十一車が東京其他附近の市場に移出さ

定置漁場設置 石城郡上遠野村字小久保水野虎太郎外一名は同村字芦の草地内鮫川筋に鰻、やまべ、てふ、鮎等を漁獲する定置漁業を八月一日から十一月三十一日までの期間において向かふ十ヶ年間免許して貰ひたいと九日水野氏から小柳知事へ出願して來た

約四割整理 平稅務出張所

平稅務出張所では開所以來管轄石城郡内の昭和五年度縣稅前期分の滞納整理に努めた結果二萬圓の内約四割の整理は年内に於いて完了したが未整理の各町村は漸次整理することゝなつた

十三日會 例會 松野尾氏講演

平町十三日會は十三日午後七時からマルトモビルにて法學士辯護士松野尾繁雄氏の「破産豫防の和議法に就いて」と題する講演ある由

七萬圓全部の負擔は出來ぬ

四つ倉の初町會と 修築地元寄附問題

石城郡四ツ倉町では十四日午後九時から初町會を召集漁港修築による地元負擔七萬圓に關し協議するが同町の輿論としては七萬圓の負擔は當然の漁業組合で出すべきであるといふのに對し組合側では四萬圓ぐらゐ

セメント 委員會 道擴張工

平町上水事セメント委員會は七日同役場會議室に開き同工事に使用するセメントの試験方に就て協議の結果差當り使用するもの、試験は八日水道課長及委員二名が四倉町の石城セメント會社に於いて試験をなし更に商工省の

柳田を捕縛する迄

- ▼ 本名 青木由五郎(前科三犯)
- ▼ 原籍 神奈川縣浦賀町
- ▼ 平地方にての偽名 柳田辰五郎
- ▼ 房總地方にての偽名 森本友三

根本 殺一

さすがは、壽々喜亭御主人年輩丈けに覺悟が宜い「おかみさんに俺が若し萬一の事があつたらお前は末だ若いのだから百ヶ日で済ましたら遠慮なくつてかね」ウワイなアんだえ今のガタンと云つたのはナニ大きな石へ前車が乗上げたのだシツカリして吳う運轉手君あゝ驚いた南無阿彌陀佛々々々オット此所は日蓮様の本場だつて。南無妙法蓮華經……

この「おせんころがし」と云ふのは昔源頼朝が石橋山の戦に敗軍の身となり愛婆おせんをつれて關東に逃れんと此所に差かゝつた時。敵軍の追撃があまり激しくおせんは此の斷崖の上で足をすべらして墜死してしまつたと云ふ傳説のある處。其れ丈けに風景は絶佳なれ

速東京の知り合ひ二ヶ所へ電話を以て一は錦糸町、一は兩國橋驛へ警官同伴で張り込み方を頼み。吉田君と鈴木さんは次の七時十七分東京へ歸り其の経過の如何んによつて又方針を定めることとし。僕はこの七時で佐久鐵工場の御主人が歸つて來ると云ふから。それまで此處に居残りて彼奴森本(柳田の偽名)に就てのこれまでの關係やら東京に於ける彼の立寄り場所等を調査して今夜の中和田浦町へ押し掛け鐵工場から電話六六番の關係の駐在所へ依頼等のごとして。山下館へ電話で報告をするこゝと、佐久間鐵工場へ訪ねた處主人が歸宅されて居つたのでいろ／＼と探りを入れ

た。それから八時二十七分發で出發。汽車はた、關の中を走つてのみで窓外にも見えやしない。たゞ時々海を隔て、點々と宿々の漁家の電燈が明滅して見えるが景物。今夕の折角に姿を見付けたまして長蛇を逸した事のムシクシヤを何で慰やしやうもなく考へれば考へる程腹が立つて無暗に煙草ばかりふかして居た。和田浦町へ着いたのが九時三十分。此の地は重に漁家ばかりと見えて最早いづれの家々も戸を閉め切つて寢んでしまつたらしい驛前からして真つ暗。幸ひにして駐在所がステーション前であつたので直ぐ解つて。駐在巡查の小川さんに逢ひ種々伺つた所。鐵工場とは遠く離れて居りついぞそんな男の事を見た事もないとの事。實はこれ／＼の事情であるから然るべく願ひをすると。居處を出て自動車

を雇ひ鐵工場へ着く。家内の人々は皆寢てしまつて起すにしばらくの時間を要した。

子宮病血の道の方は左記の良薬をお用えになればラクに自宅で退治出來ます

子宮病血の道の方は左記の良薬をお用えになればラクに自宅で退治出來ます

一手特約店 平町古鍛冶町 阿康藥舖 電話 四四番

宮温湯 腰部をアタタメ 子宮病を治す

美神湯 (腸薬血の道薬)

寒くて冷たい平の小學校

隙間風寒い教室に

火の氣がなくな

冷たい辯當で腹痛を起す

これが果して身体鍛練か

児童保健上の重大事

平町の第一、第二、第三各小學校には冬期に這入つても各教室にストーブ所か火鉢の備えさへもなく、教師も生徒も

昨今の寒空に、ブル

震えて居る、暖房の装置がない程であるから勿論温飯器等の設備がある筈なく、児童等は冷たい体で冷たい食事をとるために腹痛を起す者が多数ある、児童が寒い思ひをしながら冷たい飯を食べるのも

一つの 身体鍛練だと

いつて居る向もあるが、實際の身体鍛練は合理的な衛生的訓練を行ふにあつて非衛生的ことを行つて鍛練だと心得て居るのは根本からあやまつて居ると父兄の間にも相當論議されて居る、既にストーブ等の暖房

設備を有して居る他

地の人々は平町の小學校の此の機を見て一驚を喫して居る程で、町の財力では費用及び火災保険、ストーブ設置等に依つて教室内から児童の收容力を欠く点等か

ら考へて實現困難と見られて居るが、せめて幼學年からでも設備してはどうかと云はれて居る

小學校が

焼けてから

火鉢を全廢

曾我校長談

全々火の氣がないんですから随分ヒドいんです、是は廿年前小學校が火鉢の火から焼けてから教室の火鉢を全廢しました、其後ついに暖房装置といふ点に就いては考へを置かれぬ様になつたのです。(曾我第一小學校長談)

忘れられた

暖房装置

校長と打合

伏見町長談

今朝も家に居りまして家族の者と小學校の教室には火鉢もないんだから此の寒さでどんなにか子供達はヒドからうと話し合つた様な譯で、イヤ全く子供達が可哀想です、今日中に校長さん達に來てもらつて實際の状況をよく聞いて見る積りです、忘れられて居た暖房装置も何んとか致しませう

赤帽は濫面だが

仲賣はホク

▽……… 昨年中の働き高

平驛構内の五年一月から十二月三十一日までの賣子仲賣の營業成績を十日同驛庶務課で調査したところ不況とは言ひながら實に驚くべき好成绩を示してゐる
並四千五百圓、壽司四千四百二十四圓、酒一千一圓、茶九百四圓、サイダー四百五圓、タバコ一千四十一圓、果物一千四十三圓、菓子一千八百七十七圓、新聞七百六十圓

賣上高は總計二萬八百七圓で昨年より幾分實績は好結果を齎してゐるが同驛の赤帽の收入は悲しくも二百八十圓一般人が實質的になつたものかこればかりは氣の毒であるそれに次いで同驛仲賣店の

▲櫻井三千十圓、柴田四千三百六十一圓、佐藤四千二百八十五圓、鈴木三千二百八十七圓、久保田一萬一千五百七十一圓

で人力車の收入二千一百三十九圓と仲賣店を合計すれば一ヶ年四萬六千四百四十八圓の賣上高となり相當な

正月の酒は

七合三勺宛飲んだ

老人から赤兒まで

夫れでも昨年よりは減る

平稅務署管下各醸造家の舊冬十二月中の藏出し清酒は千五百三十八石であつたこの藏出しは正月の消費にそなられたもので全部飲みつくされたとすれば石城郡下總人口廿一萬余人で赤兒から老人まで男女一人平均七合三勺餘當り飲んだことになり昨年同期の千八百石にくらべると比較にならぬ激減ぶりです、不況におびえ切つて越年した正月だとうか、はれる

扱件数は五十餘銀貨六件でいづれも犯人未逮捕とぞ造十圓紙幣二枚五圓紙幣一枚の發見があつた

磬中の寒稽古

中學校では例年の如く來る十五日より二十八日まで二週間毎日午前五時より七時まで生徒の柔剣の寒稽古をなすことになつた

植田無盡が

平町へ本店

石城郡植田に本店を有する無盡商會は今回平町支店を合併し本店を平町に移す事に決定十日知事へ認可方を申請して來た

明日のラジオ

十三日

- 前七、〇〇 ラヂオ体操
- 前九、〇〇 氣象通報
- 前九、一〇 料理献立「黄味酢和へ」松本嘉市
- 前二、〇〇 家庭講座「お筆の譜の讀み方」(一)落合三東里
- 正午 時報
- 後〇、〇五 映畫物語「妻呼ぶ怒濤」森井三郎
- 後〇、四〇 ニュース

天氣豫報

今晚も明日も北西の風晴れたり曇つたり

京大角力春場所(六日目)

國技館より中繼

- 後六、〇〇
- 後六、三〇 (子供の時間)
- 後六、三〇 童話劇川上児童歌劇協會
- 後七、〇〇
- 後七、〇〇 講演
- 後七、〇〇 ニュース(官廳ニュースを含む)氣象通報 番組豫告 告知事項
- 後七、二五 「ユウモアの夕」佐々木邦 川上三太郎 田中比左良 上山草人
- 後九、四〇 時報 全國ニュース 氣象通報 番組豫告 告知事項

象通報 告知事項
後二、〇〇 婦人講座「生活様式の轉移と更新」中華民族立藝術院教授 齊藤佳三
後三、四〇 氣象通報
後四、〇〇 ニュース
後四、〇五 角力中繼「東

坑夫が

一名窒息

瓦斯發生して

石城郡内郷村白水浪花炭礦坑内係宮城縣柴田郡大河原町生れ渡邊七太郎(七)同礦煽風機係職工新瀉縣中蒲原郡龜田町生れ神田重勝(三)の兩名は十日午前十時ころ同坑本線斜坑内に充満せる炭酸ガスのため窒息死した

屠畜數の

面白い現象

馬肉が増す

平驛管内における去月の中の屠畜數は豚百八十八頭、馬八十頭、牛十四頭、計二百八十二頭であるがこれを前月に比すると期節向の嗜好品だけに總數において約六十頭増加してゐるも更に前年同期に比較すると百三十八頭の減である、殊に數字上から見た面白い現象は牛肉、豚肉の如き比較的高價なものもは賣れ行きがどうしても悪い關係から年々否毎

日用品物價

平町の調査

平町に於ける日用品物價は去月初旬に比し幾分低落の状態であるが各品種別の値段は左の如くである

- 白米(一キロ) 一四一錢
- 二等一三錢、三等一二錢
- 白麥一錢、平麥一五錢
- 味噌(一貫目) 五〇錢、醬油(一升) 四五錢、清酒九〇錢、木炭(四貫目一俵) 九八〇錢、櫛割五五錢、雜六四錢、砂糖(百匁) 白一四錢、赤一錢、肉、(百匁) 豚上四〇錢、並三〇錢、牛上五〇錢

屠畜營業總會

平町を中心とする湯本、四倉の屠畜業組合では新年宴會をかねて定期總會を十一日午後五時より平町五丁目吉田屋に於いて開いた

偽造銀貨事件

昨年は六件に

平警察署管内で昨五年中の偽造銀貨發見の取

